

agartha works インディボディ リアウイング作製方法

Copyright agartha works 2015

1. 必要な部品（写真左から）

- ヨコモ YRF Formula 001 用リアウイング／リアウイングベース (YF-RM)
- 2mm 径 6mm 長程度のビス、ナット
- インディボディに付属のリアウイングパーツ
ウイング面 (平面部分)、オーバル用バンパー
外側パーツ (左右)、オーバル用バンパー内側
パーツ (左右) の計5点



2. リアウイングの加工

template の「No.2 Rear Wing cut template」をシール用紙等に印刷し、形状に合わせてリアウイング翼端板に貼り付け、良く切れるカッター等でカッティングラインに従って切り出します。

ウイング面は平面部分のみ残す感じで切り取って下さい。幅は前から 16mm 幅程度です。

かなり硬いので、安全に注意して作業を行って下さい。

ネジ穴部分は、2mm の穴を開けて下さい。



<加工前>



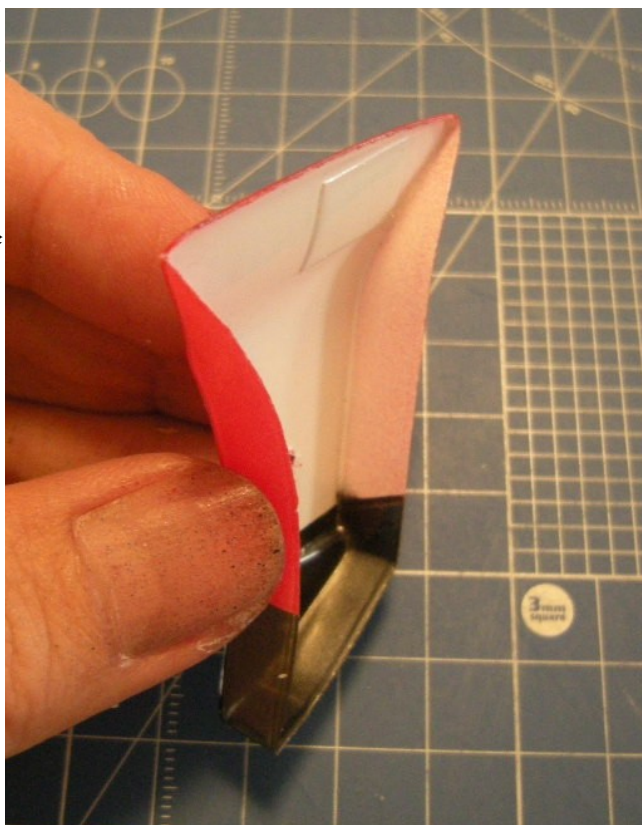
<加工後>

3. バンパーパーツの切り出し

オーバル用バンパー内側パーツ、外側パーツ共にカットラインに沿っていったん切り出して下さい。

内側パーツの上側は外側パーツの中に入り込む形になるので、写真のように、上の平面部分は、ほぼ切り落とし、それに続く前側、後ろ側もカットします。

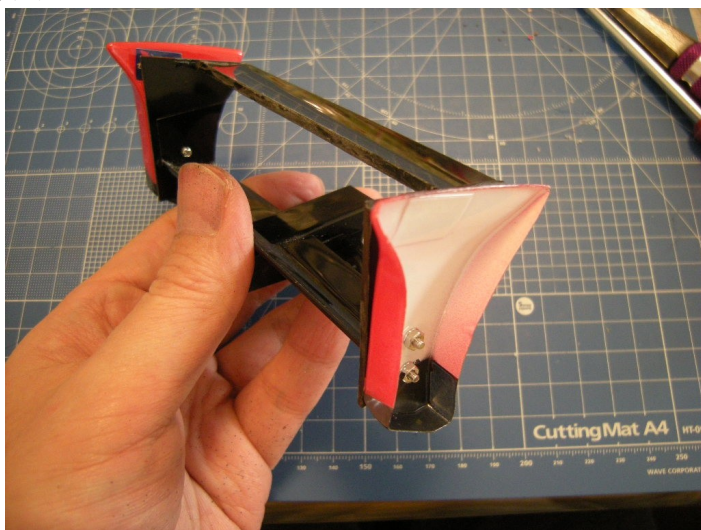
写真では、上の平面部分は切り落としてしまっていますが、外側パーツとの重なり具合を確認しながら微調整した方が良いでしょう。



4. バンパー内側パーツのウイングへの取り付け

ネジ穴用のマーキング部分に2mm径の穴を開け、2mmネジ、ナットを使って固定します。ナットを締める際には、ネジロック剤を塗って下さい。

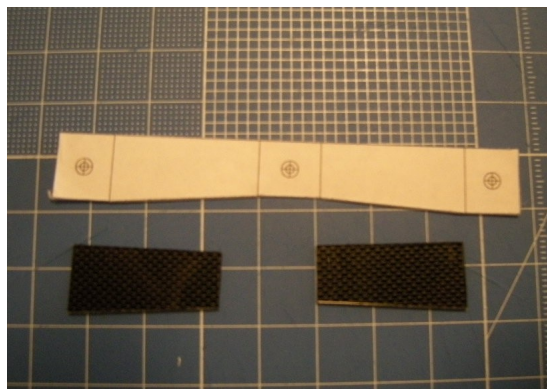
バンパーパーツは左右を間違えないように注意して下さい。



5. ウイングステーの作製

これは無くても機能的に何の問題ありません。見た目を特に気にする方向けです。

templateの「No.6 Oval rear wing stay」を使って、大きい方のパーツ(写真上側)を0.5mm厚のポリカ板から、小さい方のパーツ2個(写真下側)を1mm厚のポリカ板から切り出します。



金属製の定規等をあてがい、大きい方のパーツを折れ線に沿って、右写真のように折り曲げます。折れ線にカッターでスジを入れるとポリカ板は簡単に割れますので、スジ無しで折り曲げねばなりません。ちょっと難しいです。1mm厚のポリカ板で作ったパーツは、薄い両面テープ等でステー部の左右からくっ付けます。

完成形は次の項の写真を見て下さい。

ウイングへの固定は小径ネジ、ナットによる、ネジ止めがベストです。

透明ポリカ板の断面が気になる場合は、黒のマーカー等で塗って下さい。



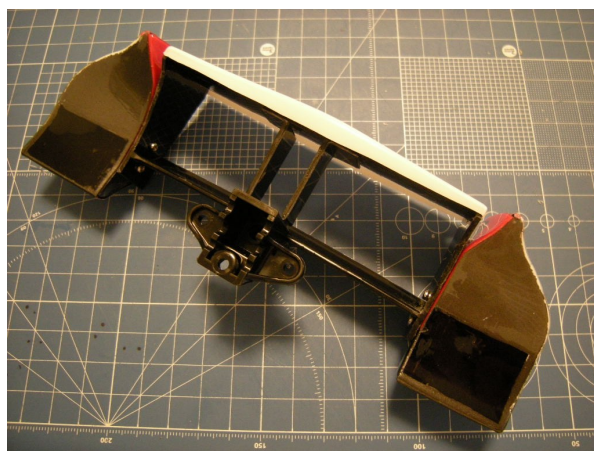
6. 組み立て

ウイング面(平面部分)もカットラインに従って切り出して下さい。切り出したパーツは、ちょうど蓋のような感じで、2で加工したウイングの上部に、はまります。

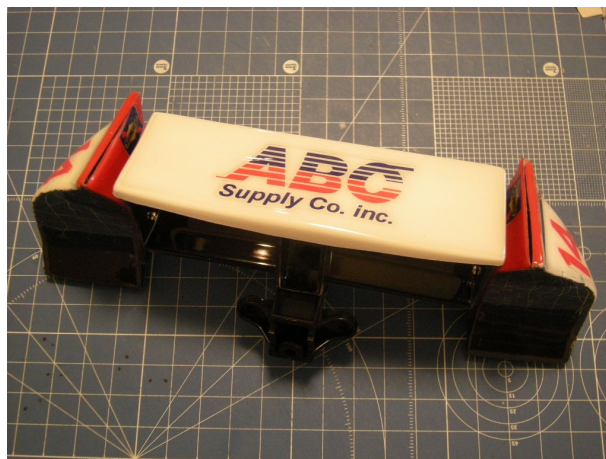
うまくはまらない場合は、ウイング側の切断面を調整して下さい。

ウイングへの固定は、裏側に両面テープ(スポンジタイプ)を付けて貼り付け、できれば小径のビスで固定して下さい(写真ではビスは使っていません)。

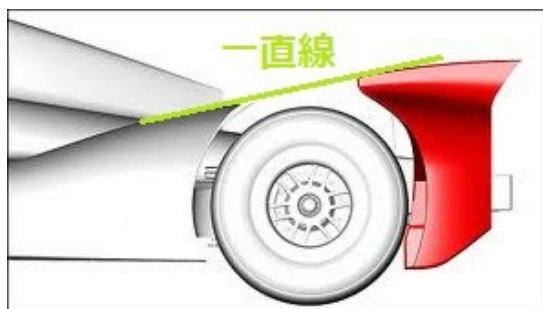
バンパー外側パーツは、S・UやスーパーX等の強力接着剤を使って内側パーツとくっつけて下さい(分解できなくなります)。



以上でオーバル用リアバンパー完成です。



カッコよい取り付け高さは右図を参考にして下さい。



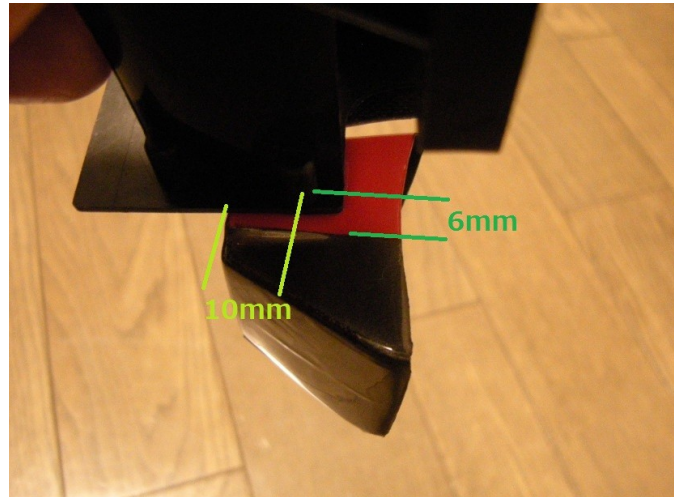
おまけ ロード用ウイングの作製

ドロームレースではあまり必要ないかと思いますが、ダウンフォースの強いロードコース用のウイングも作れます。

ZEN 3Dリアウイング(Z5003BまたはZ5003W)を使って作製します。

1. バンパーパーツの穴あけ

ロード用のリアバンパーパーツを切り出したら、写真の位置に3mmの穴を1つ開けて下さい(バンパー後端から10mm前側、写真で塗り分けているラインから6mm上側のところ)。



2. 取り付け

3Dリアウイングで取り付け部と翼端板を取り付けるために、もともと空いていた穴の前側を使ってバンパーを共締めします。標準では皿ネジで止めますが、丸頭ネジの方が良いでしょう(2.6mm径)。



3. 翼端板の作製、取り付け

templateの「No.3 Road rear wing winglet」を使って、1mm厚ポリカ板で作製した翼端板を薄手の強力両面テープを使って、3Dリアウイングの翼端板にくっ付けます。

3Dリアウイングの翼端板は外側に空力的なモールドが成型されていますが、これがあると両面テープがうまく付きませんので、カッター等で削ぎ落とすことをお勧めします。



以上でロード用リアウイング完成です。

更新履歴

2015/02/13 初版作成

2015/02/19 文言修正